



元気通信

ブダペスト日本人学校

学校だより

平成28年 1月22日号

【みんなの心にのこるBJS郵便局 閉局】(児童会担当 林田)

昨年の12月4日に開局した「みんなの心にのこるBJS郵便局」も、もちつきカルタ大会中にご家族の皆様へ年賀状を配り終えたことで全ての仕事を終了し、無事に閉局いたしました。受け取った年賀状をご覧になって、保護者の皆様はどんな気持ちになりましたか。喜んでいただいたり、いつまでも心によい思い出として残ったりする、そんな年賀状が届いたのなら幸いです。この取り組みは、ハンガリーの地にありながら、“あいさつを重んじる”という日本文化の素晴らしさに触れるよい機会であったと考えています。これからも日本のよさを感じ、大切にできるよう、子ども達と一緒に活動していきたいと思えます。

【もちつきカルタ大会を終えて】(もちつきカルタ大会担当 甘利・佐藤・日原)

今回のもちつきカルタ大会では、「自分から」「認め合う」「楽しむ」の3つをめあてとした行事運営を行ってきました。そして、このめあてについて学校全体で振り返る場を、昨日の朝会でもちました。

子どもたちからは、カルタの練習を自分から進んでしたり、互いの努力をたたえ合ったりできたというふり返りが多数出され、子どもたちの自主性や他者を肯定する態度に育ちを感じました。

一方、試合会場や試合時間などをよく確かめずに行動していたことや、準備や後片付けを人任せにしまったことなど、計画性や共同性については、課題が残りました。

来年度は、今回見出された課題をもとに、計画性や共同性がより育まれていく

ような行事運営を計画していきたいと思えます。

昼からのもちつきでは、おいしいもちに子どもたちの笑顔もあふれ、心から楽しいひと時となりました。お手伝いをいただいたPTA役員や保護者の皆様方、本当にありがとうございました。



【V校6年生との交流会を終えて】(5・6年生担任 原田・林田)

1月21日(木)に、日本語コースを選択しているV校の6年生17名と日本人学校5・6年生が交流会を実施しました。この交流会では、日本文化である書道を紹介し、体験してもらう中で、積極的にコミュニケーションを図り、互いの仲を深めることを目的として活動しました。



この交流会を行うにあたり、子ども達は事前に交流するために必要なハンガリー語を洗い出し、どのように表現するかを確かめ、そして本番を迎えました。書道を体験してもらう中で、用意していたハンガリー語を一生懸命使って説明する姿が多く見られました。同時に、予想していなかったことを伝えなければならない場面もあり、必死に言葉を探したり、ジェスチャーを使って何とか自分の意思を伝えようとしたりする姿も見られました。言葉の壁は、確実に存在しますが、それを乗り越えていこうとする子ども達の姿は、大変立派でした。今後は、この交流を通して仲良くなったV校の友達と出会った時に、お互いの名前呼び合ったり、挨拶をしたりする姿が見られることを期待しています。

